

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	8	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)	四日市市、桑名市、いなべ市、東員町、菟野町、朝日町、川越町		(概要) 計画区域面積：11,818.9 ha 計画処理人口：405,800人 流域幹線延長：92.4km 中継ポンプ場：1箇所(11.7m3/分) 終末処理場：1箇所(281千m3/日)	S51	159,000	82.2%	(社会的変化) 関連市町の将来行政人口の伸びが鈍化傾向、汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)の減少、全体計画諸元の見直し (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 1.91 (コスト縮減) 処理場設計計画の見直し、再生材の活用、リサイクル・省エネルギー化の促進、維持管理費の低減、CO2の排出負荷低減、環境負荷の低減、工事情報の電子化 (代替案) 現実的側面から該当なし	関連市町の下水道整備の進捗に伴い増加する処理場への流入水量にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。平成59年度の完成を見込んでいる	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
					(目的) 北勢沿岸流域(北部処理区)の水質保全と生活環境の改善	H59	14,000	100.0%				

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況				事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容					
							うち工事費	進捗率						
							うち用地費	進捗率						
下水道事業	103	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連	四日市市		(概要) 計画区域面積 3,072ha 計画処理人口 136,000人	S52	103,674	55.0%	(残事業) 計画区域面積 1,611ha 計画処理人口 56,965人	(社会的変化) 人口の伸びが鈍化傾向、汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)が減少 市町合併(旧四日市市と旧楠町) (経済的変化) 厳しい財政状況 建設費及び維持管理費のさらなるコスト縮減 効率的な事業執行	(費用対効果分析) B / C = 2.0 (コスト縮減) 管渠の最小径の見直し 最小土被りの見直し(管渠埋設深さの見直し) 管基礎工法の見直し 適正な発注規模 再生材料の活用 アクションプログラムの活用 (代替案) 現実的側面から該当なし	社会経済情勢の動向や市民のニーズ、財政面を考慮し、人口密集地など整備効果の高い地域から順次整備を進め、平成59年度の完成を目指している	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	
					(目的) 四日市市北部の水質保全と住環境の改善を目的に下水道を整備する		103,674	55.0%						
						H59	-	-						

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	104	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連	桑名市		(概要) 計画区域面積 3,203.8ha 計画処理人口 137,100人	S51			(社会的変化) 関連市の人口の伸びが鈍化傾向、汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)が減少 全体計画の見直し、市町合併 (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 1.92 (コスト縮減) 管渠の小口径化(最小口径200mm 150mm)、マンホール間距離の見直し、再生材の活用、リサイクル、省エネルギー化の促進、維持費管理費の低減、CO2排出削減、環境負荷の低減、工事情報の電子化 (代替案) 現実的側面から該当なし	地元住民の要望や財政力を勘案し、整備効果の高い地域から順次下水道整備を行い、平成45年度の完成を見込んでいる	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							78,698	47.2%				
					(目的) 北勢地方北部沿岸流域の水質保全と住環境の改善を目的に下水道を整備する							
						H45	-	-				

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	105	桑名市公共下水道事業(北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連) 雨水整備事業(西桑名排水区)	桑名市		(概要) ・排水区域面積 111.13ha ・確率年 8年 ・ポンプ場整備 1箇所(4台10.335m ³ /s) ・雨水幹線整備 L=2,140m	H9	5,893	39.7%	(残事業) ・排水区域面積 111.13ha(用地買収完了) ・確率年 8年 ・ポンプ場整備 1箇所(4台10.335m ³ /s) ・雨水幹線整備 L=2,140m	(社会的変化) 平成12年降雨、平成16年降雨など、近年でも浸水被害を経験しており、地元からは雨水施設の早期改修が強く要望されているなど、事業の促進に支障となるような、大きな変化はない (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 1.38 (コスト縮減) ポンプ場の経済的で円滑な排水運転、幹線水路整備の進捗に合わせた段階的整備、ポンプ場の集中管理および外部委託化の実施、より経済的で早期に効果の発現が可能な幹線ルートを選定 (代替案) 現実的側面から該当なし	平成19年度未までに全体計画の半分(約5m ³ /s)を有するポンプ施設を完成し、平成20年度から幹線管渠の整備を順次進め、平成27年度の完成を見込んでいる	事業による浸水被害軽減に対する考え方や氾濫シミュレーションによる浸水位の求め方、便益の計算において、本事業の妥当性が判断できる根拠が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
					(目的) 宅地化の進展に伴う桑名市街地の浸水防除を図るため、老朽化の進んだ基内ポンプ場の改築および雨水幹線の整備を行う		5,419	34.4%					
						H27	474	100.0%					

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	106	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連	いなべ市		(概要) 計画区域面積 2,165.1ha 計画処理人口 43,470人	H2			(社会的変化) 全体計画の見直し 市町村合併 (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 1.9 (コスト縮減) 管渠の最小管径の見直し マンホール間距離の見直し 再生材の活用 他事業との同時施工 (代替案) 現実的側面から該当なし	事業期間はH27年であるが、順調に管渠の整備が進んできており、H22年度のおおむね完成を見込んでいる	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							35,873	92.0%				
					(目的) 北勢地方北部沿岸流域(北部処理区)いなべ市の周辺環境と居住環境の改善効果及び公共用水域の水質保全を目的とする	H27	-	-				

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率					
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	107	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連	東員町		(概要) 計画区域面積 970.5ha 計画処理人口 29,840人	H1	14,174	87.6%	(残事業) 計画残面積 120.2ha	(社会的変化) 人口の伸びが鈍化傾向 (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 2.5 (コスト縮減) 管渠の最小管径の見直し (200mm 150mm) マンホール管渠距離の見直し 再生材の活用 (代替案) 現実的側面から該当なし	人口増加政策に伴う住宅開発や事業所等の進出の動向を見極めながら進めており、平成27年度の完成を見込んでいます	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							14,174	87.6%					
							-	-					
					(目的) 北勢地方北部沿岸流域の水質保全と住環境の改善を目的に下水道を整備する								

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	108	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連	菟野町		(概要) 計画区域面積 1,547ha 計画処理人口 39,800人 管渠延長(幹線+枝線) 386km	H6	45,288	29.0%	(社会的変化) 人口の伸びが鈍化傾向、汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)が減少 (経済的変化) 厳しい財政状況であることから、建設費、維持管理費のさらなるコスト縮減、効率的な事業を進めることが求められる	(費用対効果分析) B / C = 1.42 (コスト縮減) 管渠の小口径化、マンホール間隔距離の見直し、管渠埋設深の見直し、再生材の活用、発注規模の見直し、維持管理費の低減 (代替案) 該当なし	下水道整備の進捗にあわせて管渠の整備を行う。平成37年度の完成を見込んでいる。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							45,288	29.0%				
						H37	-	-				
					(目的) 北勢沿岸流域下水道(北部処理区)菟野町内の水質保全と周辺環境並びに居住環境の改善							